



12月を迎えて

保育長 原 美砂

この間読んだ本のコラムに「ステイホームから今日にいたるまでの約半年。そしてそれまでの日々…。「実感」がすっぱり抜けてしまったように感じる…」と書かれた記事がありました。気が付けば12月。今年は、月日が経つのが早いような…本当に実感がすっぱり抜けてしまったという感覚があります。

子どもたちにとってはどんな年だったのでしょうか…。楽しく毎日を過ごしていたでしょうか。園での様子の中では変わらない子どもたちの笑顔があり、わたし達職員も元気をもらう日々です。

今年は行事を縮小し、いつもの年とは違う形で行っています。

運動会～保育園は子どもたちと職員と運動会ごっこを行い、運動会の雰囲気を作り運動遊びを楽しみました。個人面談でお子さんのビデオを見ていただき、成長を共有する機会としましたが、いかがでしたでしょうか。親子で楽しむ機会がもてず残念でしたが、子どもたちは緊張せずに運動遊びを楽しむ姿が見られました。

幼稚園は保護者の方が温かく見守ってくださる中、感染症対策を行い、学年毎に運動会を開催しました。また、教職員が励みになる心温まる感想をたくさんいただきました。直接子どもたちの様子を見ていただくことの素晴らしさを改めて感じているところです。

先日、年長児による遊園地ごっこがありました。4歳児、保育園の子どもたちがクラス毎に招待してもらいとても楽しいひと時を過ごしました。幼稚園、保育園できょうだい関係がある子どもは保育の中で顔を合わせると、とても嬉しそうな様子が見られました。きょうだい関係のない子どもも、小さい子どもたちとの関わりを喜んでお手伝いしている姿が見られました。乗り物の順番待ちでは、招待された子どもたちは乗る順番をワクワク待ち、順番が来ると少し緊張した面持ちで乗っています。年長児が何度も引いたり押ししたりいっぱい力を出している姿には、さすが年長児だなと感動しました。

年長児も昨年は遊園地ごっこに招待してもらい、楽しかった思い出があることでしょう。毎年の遊びの積み重ねの中でできる行事であることを感じました。

連絡帳にも子どもたちが楽しかった様子の記載がありました。ありがとうございました。

今後の先行きが見えない日々ですが、これからも教職員一同できることを一つ一つ丁寧に積み重ねていきます。子どもたちにとって笑顔溢れる環境を整え、温かい視点で見守っていこうと考えております。保護者の皆様にはいつもご協力いただき本当にありがとうございます。

来年もまたよろしく願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。